

2023年3月29日
北海道ガス株式会社
国立大学法人北海道大学

北海道大学大学院工学研究院と北海道ガスとの連携協定の締結について ～カーボンニュートラル社会実現と地域創生に向けた相互協力の取り組み～

北海道ガス株式会社（社長：川村 智郷、本社：札幌市、以下：北ガス）は、本日、国立大学法人北海道大学大学院工学研究院（大学院工学研究院長：瀬戸口 剛、以下：北大工学研究院）との間で、連携協定を締結いたしました。

本協定は、「エネルギーと環境の最適化による快適な社会の創造」を目指し、北大工学研究院と北ガスの緊密な連携のもと、カーボンニュートラル社会の構築へ向け、相互の発展に寄与するとともに、地域社会の創生と社会課題の解決に貢献することを目的として締結するものです。

具体的には、両者の持つ知見や人材を最大限に活かし、研究・教育活動の拡充や人材育成・交流をより強力に推進し、工学的知見により社会課題の解決に取り組んでまいります。

■連携協定に基づく取り組み

- (1) 研究技術交流の拡充
- (2) エネルギーと環境先端技術に関する教育活動
- (3) 相互出向等による人材交流の促進
- (4) 研究技術・人材育成交流に寄与するラボの設置の検討

※本協定には北大工学研究院の他に大学院工学院及び工学部を含む。



北海道大学にて。左より、
北大 大学院工学研究院副研究院長 幅崎浩樹、大学院工学研究院長 瀬戸口剛、
北ガス 代表取締役会長 大槻博、代表取締役社長 川村智郷

詳細は別途資料をご参照ください。

以上

北海道大学大学院工学研究院と北海道ガスとの連携協定

■ 連携協定の目的

北海道大学
大学院工学研究院



北海道ガス



○ 先端研究及び人材

- ・ 工学研究院が有するエネルギー及び環境先端研究
- ・ 工学院・工学部の有能な未来人材

○ 北海道大学が有する総合知

- ・ 工学研究院を中心とした文理融合



○ エネルギー・環境技術

- ・ 寒冷地のエネルギー有効利用技術に関する実績と知見

○ 地域とのつながり

- ・ 総合エネルギーサービス事業を通じた北国の生活文化への貢献

両社の強み（工学的知見）を活かして

北海道大学と北海道ガスの共通目標達成に貢献

エネルギーと環境の最適化による快適な社会の創造

- ・ 2050年カーボンニュートラル社会の実現
- ・ 地域創生（北海道の持続可能な社会への貢献）

■ 連携協定に基づく取り組み

構想① 研究技術交流の拡充

エネルギー及び環境先端技術をはじめ、文理融合、地域創生へ従来の枠組みを超えた研究技術交流

文理融合を志向し、研究支援制度の対象学部への拡大 等

構想② エネルギーと環境先端技術に関する教育活動

インターンシップ・実務教育・学生実習

工学院・工学部の学生のインターンシップ、北海道ガス社員による学生への講義 等

研究セミナー・各種講習会の講師

北海道ガス主催の研究セミナー、講習会への工学研究院教員の派遣 等

構想③ 相互出向等による人材交流の促進

担当教員・社員の相互出向

北海道ガス社員の工学院社会人博士課程への入学、工学研究院教員の北海道ガスへの関与 等

構想④ 研究技術・人材育成交流に寄与するラボの設置の検討

カーボンニュートラル社会の実現を幅広い視点から牽引する「（仮称）北ガス北大ラボ」の設置を検討

エネルギー関連の新事業発掘、工学研究院内に専門教員を配置、構想推進へ向けたラウンドテーブル（協議体）の設置運営